

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2005-228337(P2005-228337A)  
 【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-033  
 【出願番号】特願2005-36034(P2005-36034)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 13/00 (2006.01)**

**H 0 4 L 12/58 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 2 5

H 0 4 L 12/58 1 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月31日(2007.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信メールサーバーが、電子メールメッセージを処理する方法であって、  
添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、  
添付ファイルを電子メールメッセージから取り除き、  
添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存し、  
 電子メールメッセージにハイパーリンクを挿入し、前記ハイパーリンクが添付ファイル保存場所に関連付けされており、添付ファイルを保存するサーバに認証情報を送信するよう構成されている  
 ことを含む方法。

【請求項2】

前記ハイパーリンクが、ハイパーリンクにアクセスすることで、添付ファイルを保存しているサーバにパスワードを送信するよう構成されている、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記添付ファイル保存場所がウェブサーバ上の場所であり、ハイパーリンクにウェブサーバのアドレスが含まれる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

送信メールサーバーが、電子メールメッセージを処理する方法であって、  
添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、  
添付ファイルを取り除くべきか否かを判定し、  
前記判定が肯定判定のとき、添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存し、  
添付ファイル保存場所から添付ファイルを取得するように構成された実行可能ファイルをメッセージに挿入すること、  
 を含む方法。

【請求項5】

前記実行可能ファイルが、受信者に認証情報を要求するように構成されている、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記実行可能ファイルが、添付ファイル保存場所からの添付ファイルの取得を可能にする認証情報を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、電子メールメッセージの受信者を特定することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、受信者電子メールアドレスのドメインを判定することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

コンピュータに、プロセッサを制御して電子メールメッセージの処理を実行させるための、コンピュータによって実行可能な命令を含むプログラムであって、コンピュータに添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、あらかじめ定められた基準に従って添付ファイルを取り除くべきか否かを判定し、前記判定が肯定判定のとき、添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存すること、を実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 10】

前記コンピュータに、メッセージに添付ファイル保存場所に関連付けされたハイパーリンクを挿入することをさらに実行させるための請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 11】

前記コンピュータに、添付ファイルの取得を可能とするように構成されたデータファイルをメッセージに挿入することをさらに実行させるための請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 12】

前記コンピュータに、前記添付ファイルをストリーミングコンテンツに変換することをさらに実行させるための請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 13】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、受信者メールアドレスのドメインを判定することを含む、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 14】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、添付ファイルのタイプを判定することを含む、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 15】

電子メールメッセージを処理するシステムであって、添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、添付ファイルを取り除くべきか否かを判定し、前記判定が肯定判定のとき添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存するメッセージパーサと、添付ファイル参照の生成を管理するように構成された添付ファイル参照モジュールと、を備え、前記添付ファイル参照モジュールは、添付ファイル保存場所に関連付けし、添付ファイルを保存するサーバに認証情報を送信するように構成された前記添付ファイル参照を生成し、

前記メッセージパーサは、前記添付ファイル参照モジュールによって生成された前記添付ファイル参照を添付ファイルを取り除いた前記電子メールメッセージに挿入するよう構成される、

システム。

【請求項 16】

前記添付ファイル参照がハイパーリンクである、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、添付ファイルのサイズを判定することを含む、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、電子メールメッセージの送信者を特定することを含む、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、添付ファイルのタイプを判定することを含む、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 0】

前記添付ファイル参照が実行可能ファイルである、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記実行可能ファイルが、受信者に認証情報を要求し、受信した認証情報を、添付ファイルを保存するサーバに送信するように構成された、請求項 2 0 に記載のシステム。

【請求項 2 2】

前記添付ファイルがメディアファイルであり、前記システムがさらに、添付ファイルを受信者にストリーミング送信するように構成されている、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 3】

前記添付ファイルがテキストを含む文書であり、前記システムがさらにテキストを翻訳するように構成されている、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 4】

受信者が添付ファイルを取得しようとするとき、添付ファイルを保存するサーバが受信者に認証情報を要求する、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 5】

前記添付ファイル参照がデータファイルである、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 6】

前記データファイルが、受信者コンピュータに保存されているアプリケーションによって、添付ファイルを保存するサーバから添付ファイルを取得することができるように構成されている、請求項 2 5 に記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記課題を解決するために、請求項 1 に記載の発明は、送信メールサーバーが、電子メールメッセージを処理する方法であって、添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、添付ファイルを電子メールメッセージから取り除き、添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存し、電子メールメッセージにハイパーリンクを挿入し、前記ハイパーリンクが添付ファイル保存場所に関連付けされており、添付ファイルを保存するサーバに認証情報を送信するよう構成されていることを含むことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 2 】

また、請求項4に記載の発明は、送信メールサーバーが、電子メールメッセージを処理する方法であって、添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、添付ファイルを取り除くべきか否かを判定し、前記判定が肯定判定のとき、添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存し、添付ファイル保存場所から添付ファイルを取得するように構成された実行可能ファイルをメッセージに挿入すること、を含むことを特徴とする。

## 【 手続補正5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 3 】

請求項5に記載するように、前記実行可能ファイルが、受信者に認証情報を要求するように構成されていることを特徴とする。

## 【 手続補正6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 4 】

請求項6に記載するように、前記実行可能ファイルが、添付ファイル保存場所からの添付ファイルの取得を可能にする認証情報を含むことと特徴とする。

## 【 手続補正7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【 手続補正8 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【 手続補正9 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 7 】

請求項7に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、電子メールメッセージの受信者を特定することを含むことを特徴とする。

## 【 手続補正10 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 8 】

請求項8に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、受信者電子メールアドレスのドメインを判定することを含むことを特徴とする。

## 【 手続補正11 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

さらに、請求項9に記載の発明は、コンピュータに、プロセッサを制御して電子メールメッセージの処理を実行させるための、コンピュータによって実行可能な命令を含むプログラムであって、コンピュータに添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、あらかじめ定めた基準に従って添付ファイルを取り除くべきか否かを判定し、前記判定が肯定判定のとき、添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存すること、を実行させることを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項10に記載するように、前記コンピュータに、メッセージに添付ファイル保存場所に関連付けされたハイパーリンクを挿入することをさらに実行させることを特徴とする。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項11に記載するように、前記コンピュータに、添付ファイルの取得を可能とするように構成されたデータファイルをメッセージに挿入することをさらに実行させることを特徴とする。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項12に記載するように、前記コンピュータに、前記添付ファイルをストリーミングコンテンツに変換することをさらに実行させることを特徴とする。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項13に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、受信者メールアドレスのドメインを判定することを含むことを特徴とする。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項14に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、添付ファイルのタイプを判定することを含むことを特徴とする。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

さらに、請求項15に記載の発明は、電子メールメッセージを処理するシステムであって、添付ファイルを含む電子メールメッセージを受け取り、添付ファイルを取り除くべきか否かを判定し、前記判定が肯定判定のとき添付ファイルを添付ファイル保存場所に保存するメッセージ・パーサと、添付ファイル参照の生成を管理するように構成された添付ファイル参照モジュールと、を備え、前記添付ファイル参照モジュールは、添付ファイル保存場所に関連付けし、添付ファイルを保存するサーバに認証情報を送信するように構成された前記添付ファイル参照を生成し、前記メッセージパーサは、前記添付ファイル参照モジュールによって生成された前記添付ファイル参照を添付ファイルを取り除いた前記電子メールメッセージに挿入するよう構成されることを特徴とする。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

請求項16に記載するように、前記添付ファイル参照がハイパーリンクであることを特徴とする。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

請求項17に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、添付ファイルのサイズを判定することを含むことを特徴とする。

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

請求項18に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、電子メールメッセージの送信者を特定することを含むことを特徴とする。

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0030】

請求項 19 に記載するように、前記添付ファイルを取り除くべきか否かの判定が、添付ファイルのタイプを判定することを含むことを特徴とする。

## 【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0031】

請求項 20 に記載するように、前記添付ファイル参照が実行可能ファイルであることを特徴とする。

## 【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0032】

請求項 21 に記載するように、前記実行可能ファイルが、受信者に認証情報を要求し、受信した認証情報を、添付ファイルを保存するサーバに送信するように構成されたことを特徴とする。

## 【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0033】

請求項 22 に記載するように、前記添付ファイルがメディアファイルであり、前記システムがさらに、添付ファイルを受信者にストリーミング送信するように構成されていることを特徴とする。

## 【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0034】

請求項 23 に記載するように、前記添付ファイルがテキストを含む文書であり、前記システムがさらにテキストを翻訳するように構成されていることを特徴とする。

## 【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0035】

請求項 24 に記載するように、受信者が添付ファイルを取得しようとするとき、添付ファイルを保存するサーバが受信者に認証情報を要求することを特徴とする。

## 【手続補正28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0036】

請求項2\_5に記載するように、前記添付ファイル参照がデータファイルであることを特徴とする。

## 【手続補正29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0037】

請求項2\_6に記載するように、前記データファイルが、受信者コンピュータに保存されているアプリケーションによって、添付ファイルを保存するサーバから添付ファイルを取得することができるように構成されていることを特徴とする。

## 【手続補正30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0038】

本発明の実施形態は、電子メール添付ファイル処理するためのシステム、方法およびコンピュータプログラムを含む。本発明の実施形態は、送信メールサーバが、添付ファイルを含む電子メールメッセージを途中で捕捉し、添付ファイルをファイルサーバに送信する。メッセージ・パーサがメッセージから添付ファイルを取り除き、ハイパーテキストリンク、実行可能ファイルあるいはデータファイルを挿入して、それ単独で、またはユーザシステム上のアプリケーションを用いて、ファイルサーバに保存された添付ファイルのコピーに受信者を導くようにする。